

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	平成21年10月14日
【四半期会計期間】	第26期第3四半期（自平成21年3月1日至平成21年5月31日）
【会社名】	日創プロニティ株式会社
【英訳名】	NISSO PRONITY Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 石田 利幸
【本店の所在の場所】	福岡県福岡市南区向野一丁目15番29号
【電話番号】	(092)552-3749
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室長 西川 新二
【最寄りの連絡場所】	福岡県福岡市南区向野一丁目15番29号
【電話番号】	(092)552-3749
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室長 西川 新二
【縦覧に供する場所】	証券会員制法人福岡証券取引所 (福岡市中央区天神二丁目14番2号)

## 1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年7月14日に提出いたしました第26期第3四半期（自平成21年3月1日至平成21年5月31日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正を行いましたので併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を関連書類として提出いたします。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、当第3四半期会計期間（平成21年3月1日から平成21年5月31日まで）及び当第3四半期累計期間（平成20年9月1日から平成21年5月31日まで）の訂正後の四半期財務諸表について、如水監査法人により四半期レビューを受け、四半期レビュー報告書を受領しております。

## 2【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

#### 第2 事業の状況

##### 1 生産、受注及び販売の状況

###### (1) 生産実績

##### 3 財政状態及び経営成績の分析

###### (1) 業績の状況

###### (2) キャッシュ・フローの状況

#### 第5 経理の状況

##### 2. 監査証明について

##### 1 四半期財務諸表

###### (1) 四半期貸借対照表

###### (2) 四半期損益計算書

###### 第3 四半期累計期間

###### 第3 四半期会計期間

###### (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

###### 注記事項

###### (四半期損益計算書関係)

###### (1 株当たり情報)

###### 1. 1株当たり純資産額

###### 2. 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_を付して表示しております。

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第26期 第3四半期 累計期間	第26期 第3四半期 会計期間	第25期
会計期間	自平成20年 9月1日 至平成21年 5月31日	自平成21年 3月1日 至平成21年 5月31日	自平成19年 9月1日 至平成20年 8月31日
売上高 (千円)	1,689,002	472,973	2,031,675
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	<u>20,396</u>	<u>11,564</u>	56,189
四半期純利益又は四半期 (当期)純損失( ) (千円)	<u>10,706</u>	<u>6,695</u>	168,485
持分法を適用した場合の 投資利益 (千円)			
資本金 (千円)		295,000	295,000
発行済株式総数 (株)		8,400	8,400
純資産額 (千円)		<u>855,462</u>	854,890
総資産額 (千円)		<u>2,961,199</u>	3,005,398
1株当たり純資産額 (円)		<u>102,475.16</u>	101,772.69
1株当たり四半期純利益 金額又は1株当たり四半 期(当期)純損失金額 ( ) (円)	<u>1,279.81</u>	<u>802.05</u>	20,057.76
潜在株式調整後1株当た り四半期(当期)純利益 金額 (円)			
1株当たり配当額 (円)			1,000
自己資本比率 (%)		<u>28.9</u>	28.4
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	249,761		59,048
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	86,080		122,051
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	4,907		150,710
現金及び現金同等物の四 半期末(期末)残高 (千円)		540,827	372,238
従業員数 (人)		96	98

(注) &lt;略&gt;

(訂正後)

回次		第26期 第3四半期 累計期間	第26期 第3四半期 会計期間	第25期
会計期間		自平成20年 9月1日 至平成21年 5月31日	自平成21年 3月1日 至平成21年 5月31日	自平成19年 9月1日 至平成20年 8月31日
売上高	(千円)	1,689,002	472,973	2,031,675
経常利益又は経常損失 ( )	(千円)	<u>6,936</u>	<u>25,025</u>	56,189
四半期純利益又は四半期 (当期)純損失( )	(千円)	<u>3,604</u>	<u>13,798</u>	168,485
持分法を適用した場合の 投資利益	(千円)			
資本金	(千円)		295,000	295,000
発行済株式総数	(株)		8,400	8,400
純資産額	(千円)		<u>848,359</u>	854,890
総資産額	(千円)		<u>2,947,715</u>	3,005,398
1株当たり純資産額	(円)		<u>101,624.33</u>	101,772.69
1株当たり四半期純利益 金額又は1株当たり四半 期(当期)純損失金額 ( )	(円)	<u>430.81</u>	<u>1,652.89</u>	20,057.76
潜在株式調整後1株当た り四半期(当期)純利益 金額	(円)			
1株当たり配当額	(円)			1,000
自己資本比率	(%)		<u>28.8</u>	28.4
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	249,761		59,048
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	86,080		122,051
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	4,907		150,710
現金及び現金同等物の四 半期末(期末)残高	(千円)		540,827	372,238
従業員数	(人)		96	98

(注) &lt;略&gt;

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第3四半期会計期間（自平成21年3月1日至平成21年5月31日）の生産実績を製品区分別に示すと、次のとおりであります。

（訂正前）

製品区分別	当第3四半期会計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)
オーダー加工品	257,489	73.1
企画品	85,697	24.4
その他	8,844	2.5
合計	352,032	100.0

（注）＜略＞

（訂正後）

製品区分別	当第3四半期会計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)
オーダー加工品	254,929	73.1
企画品	84,888	24.4
その他	8,754	2.5
合計	348,572	100.0

（注）＜略＞

### 3【財政状態及び経営成績の分析】

#### (訂正前)

##### (1)業績の状況

当第3四半期会計期間におけるわが国経済は、世界的な金融市場の混乱やそれに連鎖した国内経済の悪化が顕著であり、企業の設備投資の減退、雇用不安及び個人消費の極度の冷え込みが見られました。景気悪化のテンポは緩やかになったとの経済報告もありましたが、当社が属する業界におきましては底打ち感が希薄であり、いまだ景気下振れの懸念はぬぐえない状況であります。

このような状況の中、当社は「シャープ堺工場」向けとして国土交通省認定不燃パネルをはじめ、「JR大阪駅再開発向け外装パネル、また、国内・海外の競馬場向け大型映像装置用筐体外装板など「オーダー加工品」の受注に注力するのはもとより、当社のオリジナル製品である企画品（波板・折板、屋根壁材など）の販売に営業力を傾注いたしました。

また、環境関連業界向けとして風力発電用加工製品及び太陽光発電用架台、中国・広州の自動車工場向け塗装ブースなど販売領域の拡大を図り、これまでの販売先と異なる領域への受注活動を拡げ、業種の景況に左右されない体制の構築を進めてまいりました。

結果といたしまして当第3四半期会計期間における売上高は472,973千円、営業損失7,803千円、経常損失11,564千円、四半期純損失6,695千円となりました。

なお、当第3四半期累計期間における売上高は1,689,002千円、営業利益28,989千円、経常利益20,396千円、四半期純利益10,706千円となりました。

##### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前四半期会計期間末に比べ136,245千円増加し、540,827千円となりました。

また、当第3四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期会計期間において営業活動によって得られた資金は118,742千円となりました。これは主に、売上債権の減少額82,085千円、減価償却費61,285千円がありましたが、たな卸資産の増加額11,337千円、仕入債務の減少額4,377千円があったことによるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期会計期間において投資活動の結果使用した資金は4,155千円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出10,533千円がありましたが、定期預金の払い戻しによる収入7,512千円があったことによるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期会計期間において財務活動によって得られた資金は21,658千円となりました。これは主に、短期借入の純増額55,000千円がありましたが、長期借入金の返済による支出33,278千円によるものであります。

#### (訂正後)

##### (1)業績の状況

当第3四半期会計期間におけるわが国経済は、世界的な金融市場の混乱やそれに連鎖した国内経済の悪化が顕著であり、企業の設備投資の減退、雇用不安及び個人消費の極度の冷え込みが見られました。景気悪化のテンポは緩やかになったとの経済報告もありましたが、当社が属する業界におきましては底打ち感が希薄であり、いまだ景気下振れの懸念はぬぐえない状況であります。

このような状況の中、当社は「シャープ堺工場」向けとして国土交通省認定不燃パネルをはじめ、「JR大阪駅再開発向け外装パネル、また、国内・海外の競馬場向け大型映像装置用筐体外装板など「オーダー加工品」の受注に注力するのはもとより、当社のオリジナル製品である企画品（波板・折板、屋根壁材など）の販売に営業力を傾注いたしました。

また、環境関連業界向けとして風力発電用加工製品及び太陽光発電用架台、中国・広州の自動車工場向け塗装ブースなど販売領域の拡大を図り、これまでの販売先と異なる領域への受注活動を拡げ、業種の景況に左右されない体制の構築を進めてまいりました。

結果といたしまして当第3四半期会計期間における売上高は472,973千円、営業損失21,263千円、経常損失25,025千円、四半期純損失13,798千円となりました。

なお、当第3四半期累計期間における売上高は1,689,002千円、営業利益15,529千円、経常利益6,936千円、四半期純利益3,604千円となりました。

##### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前四半期会計期間末に比べ136,245千円増加し、540,827千円となりました。

また、当第3四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期会計期間において営業活動によって得られた資金は118,742千円となりました。これは主に、売上債権の減少額82,085千円、減価償却費61,285千円がありましたが、仕入債務の減少額4,377千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期会計期間において投資活動の結果使用した資金は4,155千円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出10,533千円がありましたが、定期預金の払い戻しによる収入7,512千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期会計期間において財務活動によって得られた資金は21,658千円となりました。これは主に、短期借入の純増額55,000千円がありましたが、長期借入金の返済による支出33,278千円によるものであります。

## 第5【経理の状況】

### 2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期会計期間（平成21年3月1日から平成21年5月31日まで）及び当第3四半期累計期間（平成20年9月1日から平成21年5月31日まで）に係る四半期財務諸表について、如水監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期会計期間（平成21年3月1日から平成21年5月31日まで）及び当第3四半期累計期間（平成20年9月1日から平成21年5月31日まで）に係る四半期財務諸表について、如水監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、当第3四半期会計期間（平成21年3月1日から平成21年5月31日まで）及び当第3四半期累計期間（平成20年9月1日から平成21年5月31日まで）の訂正後の四半期財務諸表について、如水監査法人により四半期レビューを受け、四半期レビュー報告書を受領しております。

## 1【四半期財務諸表】

## (1)【四半期貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	602,763	456,233
受取手形及び売掛金	4,497,170	4,630,453
製品	42,453	58,418
原材料	280,729	262,141
仕掛品	57,733	33,149
前払費用	4,654	3,144
繰延税金資産	4,157	4,157
未収入金	34	3,620
その他	1	355
貸倒引当金	2,196	177
流動資産合計	1,487,502	1,451,497
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,456,151	1,478,895
機械装置及び運搬具(純額)	781,807	829,435
土地	1,218,270	1,218,270
その他(純額)	9,206	12,841
有形固定資産合計	5,1465,434	5,1539,442
無形固定資産	7,671	8,849
投資その他の資産		
破産更生債権等	8,261	589
その他	591	5,608
貸倒引当金	8,261	589
投資その他の資産合計	591	5,608
固定資産合計	1,473,697	1,553,900
資産合計	2,961,199	3,005,398



	当第3四半期会計期間末 (平成21年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年8月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	58,361	107,256
短期借入金	1,980,000	1,975,000
1年内返済予定の長期借入金	1,114,312	1,98,974
未払法人税等	10,713	2,035
賞与引当金	13,143	-
その他	105,219	118,737
<b>流動負債合計</b>	<b>1,281,750</b>	<b>1,302,003</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,432,196	1,437,530
退職給付引当金	28,281	25,198
長期未払金	300,200	322,466
繰延税金負債	63,309	63,309
<b>固定負債合計</b>	<b>823,986</b>	<b>848,504</b>
<b>負債合計</b>	<b>2,105,736</b>	<b>2,150,508</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	295,000	295,000
資本剰余金	215,000	215,000
利益剰余金	347,197	344,890
自己株式	1,734	-
<b>株主資本合計</b>	<b>855,462</b>	<b>854,890</b>
<b>純資産合計</b>	<b>855,462</b>	<b>854,890</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,961,199</b>	<b>3,005,398</b>

(訂正後)

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年8月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	602,763	456,233
受取手形及び売掛金	4,497,170	4,630,453
製品	38,993	58,418
原材料	276,394	262,141
仕掛品	52,045	33,149
前払費用	4,654	3,144
繰延税金資産	4,157	4,157
未収入金	34	3,620
その他	1	355
貸倒引当金	2,196	177
<b>流動資産合計</b>	<b>1,474,017</b>	<b>1,451,497</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	1,456,151	1,478,895
機械装置及び運搬具(純額)	781,807	829,435
土地	1,218,270	1,218,270
その他(純額)	9,206	12,841
<b>有形固定資産合計</b>	<b>5,1465,434</b>	<b>5,1539,442</b>
無形固定資産	7,671	8,849
<b>投資その他の資産</b>		
破産更生債権等	8,261	589
その他	591	5,608
貸倒引当金	8,261	589
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>591</b>	<b>5,608</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>1,473,697</b>	<b>1,553,900</b>
<b>資産合計</b>	<b>2,947,715</b>	<b>3,005,398</b>

	当第3四半期会計期間末 (平成21年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年8月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	58,361	107,256
短期借入金	1,980,000	1,975,000
1年内返済予定の長期借入金	1,114,312	1,98,974
未払法人税等	4,332	2,035
賞与引当金	13,143	-
その他	105,219	118,737
<b>流動負債合計</b>	<b>1,275,368</b>	<b>1,302,003</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,432,196	1,437,530
退職給付引当金	28,281	25,198
長期未払金	300,200	322,466
繰延税金負債	63,309	63,309
<b>固定負債合計</b>	<b>823,986</b>	<b>848,504</b>
<b>負債合計</b>	<b>2,099,355</b>	<b>2,150,508</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	295,000	295,000
資本剰余金	215,000	215,000
利益剰余金	340,094	344,890
自己株式	1,734	-
<b>株主資本合計</b>	<b>848,359</b>	<b>854,890</b>
<b>純資産合計</b>	<b>848,359</b>	<b>854,890</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,947,715</b>	<b>3,005,398</b>

## ( 2 ) 【四半期損益計算書】

## 【第3四半期累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)
売上高	1,689,002
売上原価	1,352,864
売上総利益	336,137
販売費及び一般管理費	307,147
営業利益	28,989
営業外収益	
受取利息	518
その他	6,080
営業外収益合計	6,599
営業外費用	
支払利息	15,137
その他	55
営業外費用合計	15,192
経常利益	20,396
特別利益	
貸倒引当金戻入額	100
特別利益合計	100
特別損失	
固定資産除却損	9
特別損失合計	9
税引前四半期純利益	20,487
法人税等	9,780
四半期純利益	10,706

(訂正後)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)
売上高	1,689,002
売上原価	1,366,348
売上総利益	322,653
販売費及び一般管理費	307,124
営業利益	15,529
営業外収益	
受取利息	518
その他	6,080
営業外収益合計	6,599
営業外費用	
支払利息	15,137
その他	55
営業外費用合計	15,192
経常利益	6,936
特別利益	
貸倒引当金戻入額	100
特別利益合計	100
特別損失	
固定資産除却損	9
特別損失合計	9
税引前四半期純利益	7,026
法人税等	3,422
四半期純利益	3,604

【第3四半期会計期間】  
 (訂正前)

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
売上高	472,973
売上原価	<u>382,803</u>
売上総利益	<u>90,170</u>
販売費及び一般管理費	<u>97,973</u>
営業損失( )	<u>7,803</u>
営業外収益	
受取利息	127
その他	970
営業外収益合計	<u>1,098</u>
営業外費用	
支払利息	4,859
営業外費用合計	<u>4,859</u>
経常損失( )	<u>11,564</u>
特別利益	
貸倒引当金戻入額	100
特別利益合計	<u>100</u>
税引前四半期純損失( )	<u>11,464</u>
法人税等	<u>4,769</u>
四半期純損失( )	<u>6,695</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
売上高	472,973
売上原価	396,287
売上総利益	76,686
販売費及び一般管理費	97,950
営業損失( )	21,263
営業外収益	
受取利息	127
その他	970
営業外収益合計	1,098
営業外費用	
支払利息	4,859
営業外費用合計	4,859
経常損失( )	25,025
特別利益	
貸倒引当金戻入額	100
特別利益合計	100
税引前四半期純損失( )	24,925
法人税等	11,126
四半期純損失( )	13,798

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】  
(訂正前)

(単位：千円)

当第3四半期累計期間  
(自平成20年9月1日  
至平成21年5月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	20,487
減価償却費	178,639
貸倒引当金の増減額(は減少)	9,691
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,082
賞与引当金の増減額(は減少)	13,143
受取利息及び受取配当金	518
支払利息	15,137
売上債権の増減額(は増加)	125,611
たな卸資産の増減額(は増加)	27,207
仕入債務の増減額(は減少)	48,894
未払費用の増減額(は減少)	23,296
その他	1,183
小計	267,058
利息及び配当金の受取額	518
利息の支払額	17,350
法人税等の支払額	464
営業活動によるキャッシュ・フロー	249,761
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	72,158
定期預金の預入による支出	50,099
有形固定資産の取得による支出	107,245
無形固定資産の取得による支出	894
投資活動によるキャッシュ・フロー	86,080
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	5,000
長期借入れによる収入	95,000
長期借入金の返済による支出	84,996
自己株式の取得による支出	1,734
配当金の支払額	8,361
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,907
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	168,589
現金及び現金同等物の期首残高	372,238
現金及び現金同等物の四半期末残高	540,827



(訂正後)

(単位：千円)

当第3四半期累計期間  
(自平成20年9月1日  
至平成21年5月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	7,026
減価償却費	178,639
貸倒引当金の増減額(は減少)	9,691
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,082
賞与引当金の増減額(は減少)	13,143
受取利息及び受取配当金	518
支払利息	15,137
売上債権の増減額(は増加)	125,611
たな卸資産の増減額(は増加)	13,723
仕入債務の増減額(は減少)	48,894
未払費用の増減額(は減少)	23,296
その他	1,160
小計	267,058
利息及び配当金の受取額	518
利息の支払額	17,350
法人税等の支払額	464
営業活動によるキャッシュ・フロー	249,761
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	72,158
定期預金の預入による支出	50,099
有形固定資産の取得による支出	107,245
無形固定資産の取得による支出	894
投資活動によるキャッシュ・フロー	86,080
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	5,000
長期借入れによる収入	95,000
長期借入金の返済による支出	84,996
自己株式の取得による支出	1,734
配当金の支払額	8,361
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,907
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	168,589
現金及び現金同等物の期首残高	372,238
現金及び現金同等物の四半期末残高	540,827

## 【注記事項】

(四半期損益計算書関係)

(訂正前)

当第3四半期累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
荷造運賃	57,366千円
役員報酬	66,543千円
給与手当	71,718千円
賞与引当金繰入額	3,529千円
退職給付費用	1,205千円
貸倒引当金繰入額	10,118千円
研究開発費	2,442千円
その他	<u>94,224千円</u>

当第3四半期会計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
荷造運賃	14,755千円
役員報酬	21,912千円
給与手当	23,930千円
賞与引当金繰入額	3,529千円
退職給付費用	207千円
貸倒引当金繰入額	5,367千円
研究開発費	2,442千円
その他	<u>25,828千円</u>

(訂正後)

当第3四半期累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
荷造運賃	57,366千円
役員報酬	66,543千円
給与手当	71,718千円
賞与引当金繰入額	3,529千円
退職給付費用	1,205千円
貸倒引当金繰入額	10,118千円
研究開発費	2,442千円
その他	<u>94,200</u> 千円

当第3四半期会計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
荷造運賃	14,755千円
役員報酬	21,912千円
給与手当	23,930千円
賞与引当金繰入額	3,529千円
退職給付費用	207千円
貸倒引当金繰入額	5,367千円
研究開発費	2,442千円
その他	<u>25,804</u> 千円

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

(訂正前)

当第3四半期会計期間末 (平成21年5月31日)		前事業年度末 (平成20年8月31日)	
1株当たり純資産額	<u>102,475.16</u> 円	1株当たり純資産額	101,772.69円

(訂正後)

当第3四半期会計期間末 (平成21年5月31日)		前事業年度末 (平成20年8月31日)	
1株当たり純資産額	<u>101,624.33</u> 円	1株当たり純資産額	101,772.69円

## 2. 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額

(訂正前)

当第3四半期累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額 <u>1,279.81</u> 円	1株当たり四半期純損失金額 <u>802.05</u> 円

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。なお、当第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、当第3四半期会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

	当第3四半期累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額		
四半期純利益又は純損失( )(千円)	<u>10,706</u>	<u>6,695</u>
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は純損失( )(千円)	<u>10,706</u>	<u>6,695</u>
期中平均株式数(株)	8,366	8,348
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(訂正後)

当第3四半期累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額 <u>430.81</u> 円	1株当たり四半期純損失金額 <u>1,652.89</u> 円

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。なお、当第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、当第3四半期会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

	当第3四半期累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額		
四半期純利益又は純損失( )(千円)	<u>3,604</u>	<u>13,798</u>
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は純損失( )(千円)	<u>3,604</u>	<u>13,798</u>
期中平均株式数(株)	8,366	8,348
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年10月10日

日創プロニティ株式会社

取締役会 御中

如水監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 廣島 武文 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 児玉 邦康 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日創プロニティ株式会社の平成20年9月1日から平成21年8月31日までの第26期事業年度の第3四半期会計期間（平成21年3月1日から平成21年5月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成20年9月1日から平成21年5月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、日創プロニティ株式会社の平成21年5月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期会計期間及び第3四半期累計期間の経営成績並びに第3四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

「第5 経理の状況 2. 監査証明について」に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期財務諸表について四半期レビューを行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。